

# H22 年漁期のあかいか（ソデイカ）漁業について

今漁期(H22 年漁期)のあかいか(ソデイカ)漁業について取りまとめましたので、お知らせします。

## 1 平成 22 年漁期の漁況

### 【兵庫県下各漁協(支所)の漁獲】

平成 22 年(2010 年)の漁獲量(速報値)は、但馬漁協津居山支所 13.3 トン(2009 年は 35.0 トン)、竹野支所 15.2 トン(同 37.3 トン)、柴山支所 16.2 トン(同 30.2 トン)、香住本所 46.7 トン(同 99.6 トン)、浜坂漁協 22.7 トン(同 45.1 トン)、**合計 114.2 トン**(同 247.2 トン)となり、**前年や最近 5 年分の約半分と低調な**水揚げとなりました。今漁期、漁獲量が減少した要因として、**①来遊量が少なかったこと、②夏季、猛暑による水温の上昇で、あかいかの分布範囲が例年に比べて沖合域に広がり、その結果、山陰沿岸での漁場形成時期が遅れた(特に漁期の開始が遅れた)こと、③シロイカが好漁で、漁獲努力がシロイカに向けたこと**等が考えられます。

## 2 価格の推移

最近 5 年間の月別単価の推移を示したのが右のグラフです。例年、単価は漁期はじめに高く、その後徐々に低下する傾向にありますが、今漁期も漁期はじめに 700 円前後であった単価(1kg あたり)が、10 月には 639 円、11~12 月には 521~517 円となり、近年の中では平均的な値で推移しました。

また漁獲量が前年の約半分まで落ち込んだことから、県下全域の漁獲金額(速報値)も、合計 6,180 万円で、**前年比約 47%**と大きく減少しました。

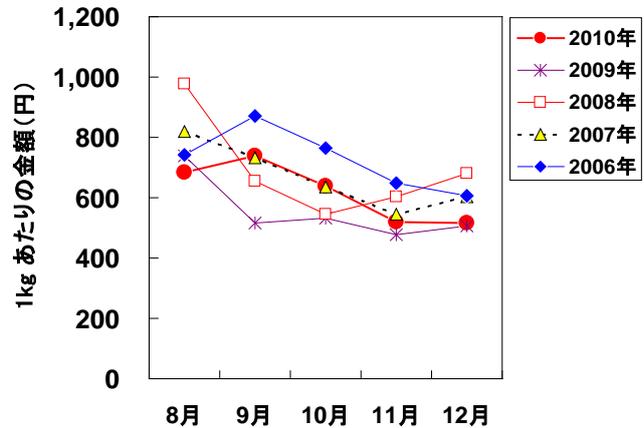


図1 あかいか平均単価の推移(但馬全体)

## 3 漁況予報の結果(的中したかどうか)

当センターでは、毎年 7 月に「あかいか(ソデイカ)長期漁況予報(予報期間: 9~11 月)」、10 月に「中短期予報(漁況経過と漁期後半の予報)」を公表しています。しかし今漁期は、9 月の漁獲が著しく低調で中短期予報に必要なデータを入手出来なかったことから、本予報を行うことができませんでした。なお、7 月に発表した長期漁況予報とその結果については以下のとおりでした。

### 【長期予報(7月15日発表)】

①**来遊水準**: 「昨年に比べて、「やや少なめ」の漁獲が見込まれる」と予報

②**平均漁獲量**: 「予報期間中(9~11 月)の 1 日 1 隻あたりの漁獲量は、およそ 80~90 kg 程度となる見込み」と予報

結果: → **△**: 来遊資源量は、昨年をやや下回りました。1 日 1 隻あたりの漁獲量は、11 月上旬に高かったものの、漁期が短く、特に 9 月の漁獲が非常に少なかったこと、加えて出漁隻数も例年に比べて大幅に減少したことから、漁期を通した全体の漁獲量は前年を大きく下回りました。

③**漁場**: 「山陰・若狭沖冷水域の張り出しは強く、漁場は岸寄りに形成される見込み」と予報

結果: → **×**: 冷水域の張り出しは強くなかった。

**\* 今後も、より精度の高い漁況予測を発表していく予定です。引き続きご協力のほどお願いいたします。**

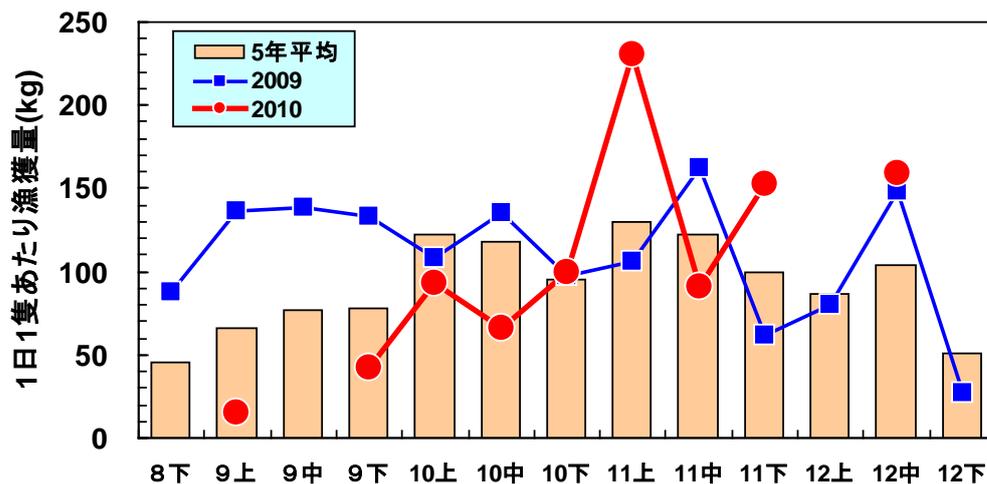


図2 来遊量指標(但馬漁協香住本所の1日1隻あたり平均漁獲量)の旬別推移

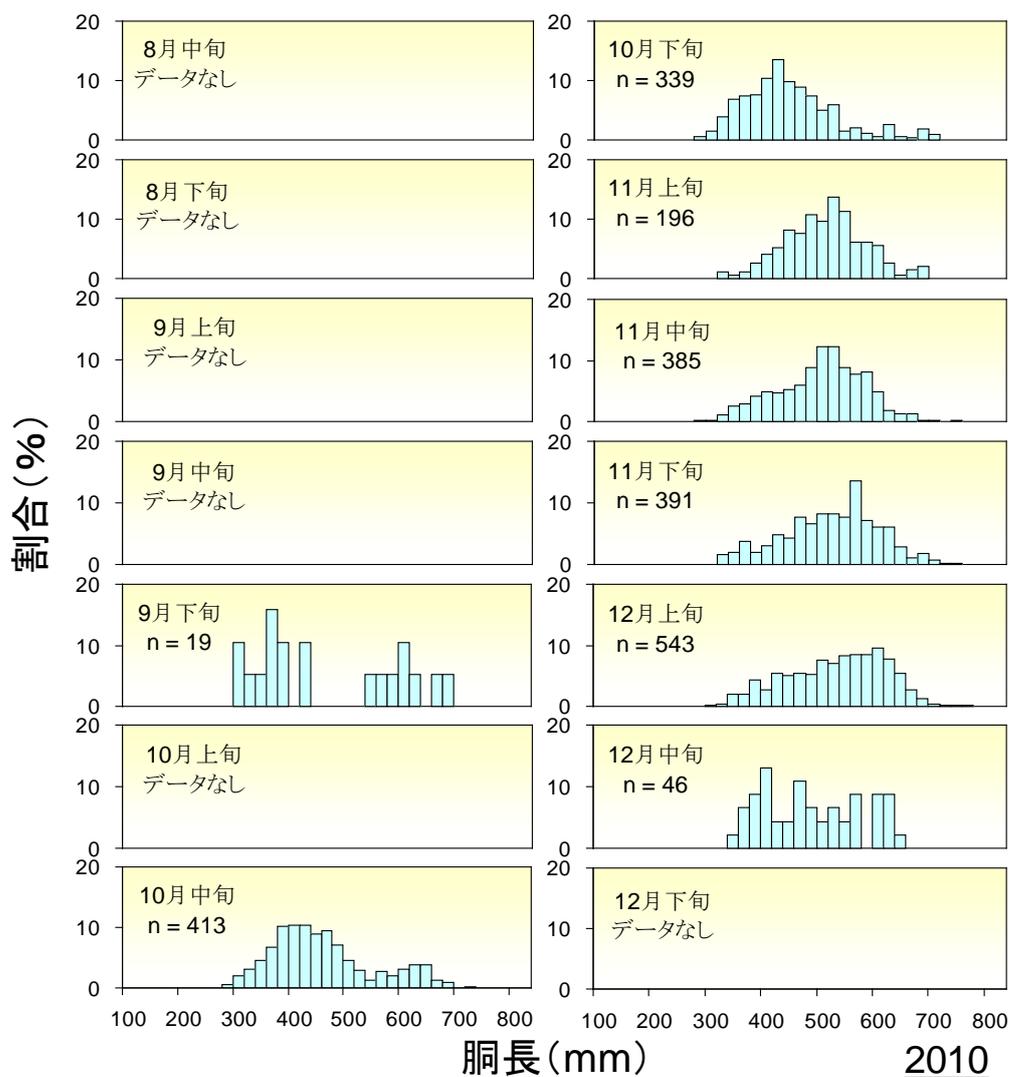


図3 JF 但馬漁協香住本所に水揚げされたあかいか(ソデイカ)の体長組成

\* nはその旬に測定したイカの数を示します。

\* なお、胴の長さを体重に換算すると、概ね次のとおりとなります。

300mm=1.0kg、400mm=2.4kg、500mm=4.7kg、600mm=8.0kg、700mm=12.7kg、800mm=19.0kg